

GUARDIANS OF THE HARVEST

鹿

の国

生き神とされた少年が見たもの。

鹿なくしてハ御神事ハすべからず



神秘に包まれた少年の生き神・大祝
と鹿の贄の祭には、忘れかけていた
いのちの循環への祈りがあった。
日本で最古の神社の一つ、諏訪大社
の四季の祭礼を追い、中世の秘儀を再
現したドキュメンタリー。

鹿の国

監督：弘理子 プロデューサー：北村皆雄

語り：能登麻美子、いとうせいこう

音楽：原摩利彦

撮影協力：諏訪大社

製作・配給：ヴィジュアルフォークロア

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

ヴィジュアル
フォークロア



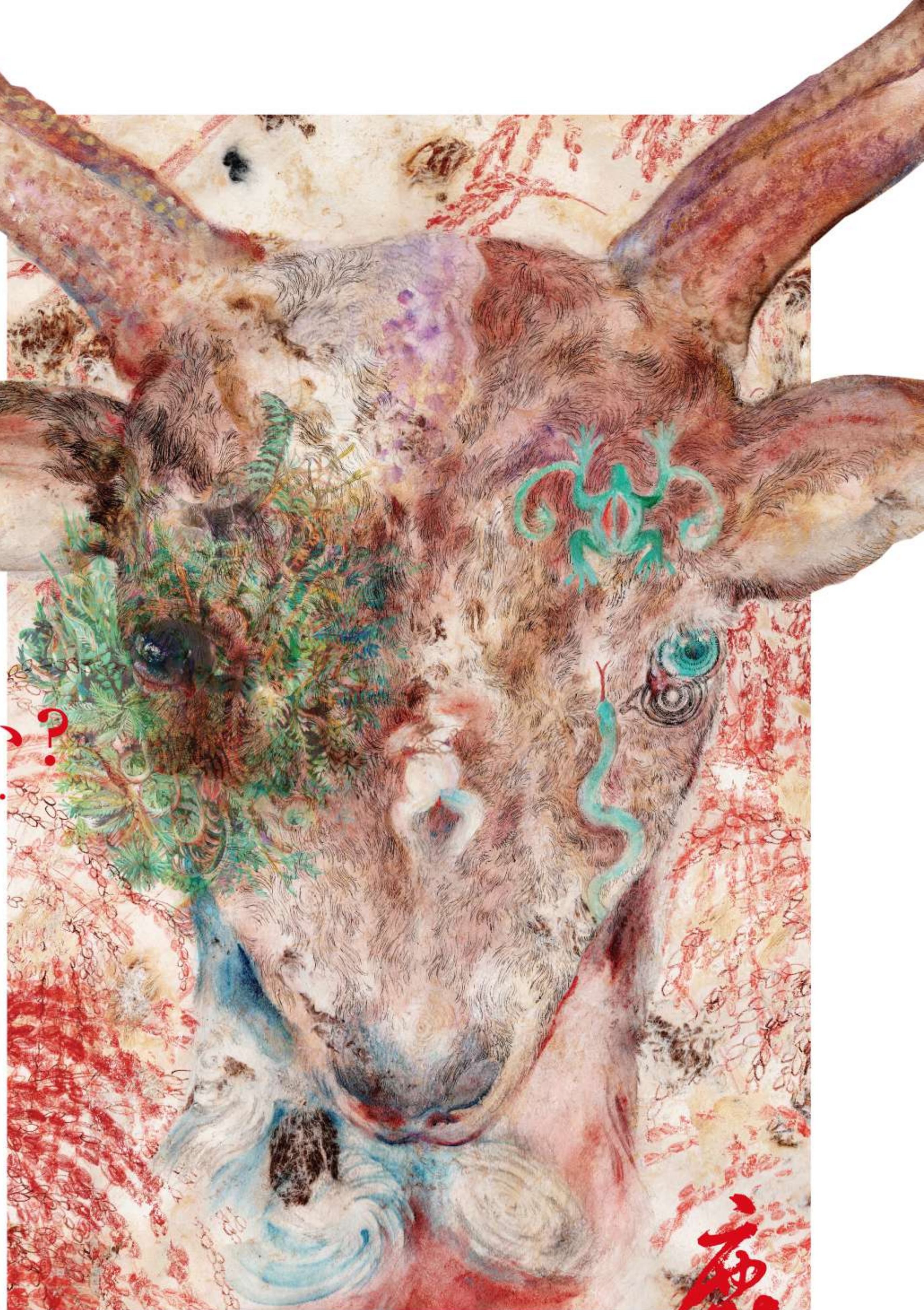
2025年 / 98分 / カラー / 日本 / 日本語 / DCP

©2025 Visual Folklore Inc.

<https://shikanokuni.vfo.co.jp>



日本列島のへソ、諏訪盆地に位置する日本最古の神社の一つ、諏訪大社。年間200回を超えるその祭礼は謎に満ちている。重要神事で降ろされる精霊・ミシヤグジ。そして神事に欠かせないとされた鹿の生贄……。ネパールやチベットで生と死の文化を追ってきた監督・弘理子は、四季の祭礼を追ううち、そこにあるいのちの循環への原初の祈りに気づく。そして、長らく畏怖と謎に包まれてきた中世の「御室神事」の再現に挑む。厳冬の3カ月間、神域の穴倉に籠められた生き



なぜこの土地に、これほど心が騒ぐのか？

数々の映像民俗学作品を手がけてきた北村皆雄がプロデューサーを務める。語りは、声優の能登麻美子というせいこう。音楽を、国内外のアーティストから高く評価されている音楽家の原摩利彦が担う。

神・少年大祝の前で練り広げられた芸能とは？そして春4月、化粧を施されて出現する大祝に捧げられた75頭の鹿の首の意味とは？冬から春へ、死から再生へ。美しい四季とともに3年をかけて描き出された、現代社会を生きる私たちが忘れかけていた原初の祈りの姿。

鹿の國

GUARDIANS OF THE HARVEST

監督：弘理子
プロデューサー：北村皆雄
語り：能登麻美子・いとうせいこう
音楽：原摩利彦
出演：中西レモン・吉松章・諏訪の衆
芸能監修：宮嶋隆輔
太鼓：塩原良 笛：愛蓮和美
撮影：毛利立夫・三好祐司・明石太郎・矢崎正和
整音・音響：斎藤恒夫
編集：高橋慶太
EED：和田修平
監督助手：高橋由佳
制作デスク：渡邊有子
制作協力：山上亜紀
CG：山田みどり
題字：吉澤大淳
劇場公開：遠藤協
イメージアート：大小島真木
宣伝デザイン：岩田和憲
宣伝：Playtime
ガイドブック編集：石埜穂高

協力：諏訪圏フィルムコミッション
撮影協力：諏訪大社
制作・配給：ヴィジュアルフォークロア
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
©2025 Visual Folklore Inc.

ヴィジュアル
フォークロア



2025年正月、命めぶくロードショー
前売券 1,500円 絶賛発売中!

1月2日(木)より
ポレポレ東中野
03-3371-0088
pole2.co.jp

1月3日(金)より
岡谷スカラ座
0266-22-2773
長野県岡谷市中央町2丁目4-14